

## 2015年度 研究センター事業報告書

研究センター名	加藤周一現代思想研究センター
研究センター長名	鷺巣 力

### I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

当研究センターの研究は、2015年2月16日に研究部会議に提出された「設立について」にもあるように、「戦後日本の知識人とコスモポリタニズムの研究」を基本的な主題とするが、この主題の下にふたつの研究作業が進められる。ひとつは加藤周一文庫を基盤として行なわれる「基礎研究」であり、もうひとつが「研究成果活用」であり、具体的には加藤周一文庫デジタルアーカイブの構築と活用を進めることである。また、2016年5月に開催された加藤周一文庫開設記念行事の準備を進めた。

#### (1) 基礎研究部門

加藤周一をはじめ戦後日本の知識人について、たとえば、林達夫、福永武彦らを視野に収めながら、日本の知識人のコスモポリタニズムまで視線を伸ばした研究を行なった。加藤周一については、加藤周一研究会を通して、周辺の知識人については、各自が研究を進めるという形をとった。

##### (i) 加藤周一研究会

加藤の多面的な活動を理解するのは、多方面の研究が必要であり、その研究報告によって、加藤の研究センター参加者の加藤理解を深めるという位置づけで、数回の研究会を開いた。

- ① 富山仁貴(関西学院大学大学院)「加藤周一文庫のノート資料をめぐって」(2015年4月)
- ② 彭佳紅(帝塚山学院大学)「加藤周一の漢詩」(2015年7月)
- ③ 龍澤武(元平凡社編集局長、東アジア出版人会議議長)「百科事典編集における加藤周一の役割」(2015年10月)
- ④ 加國尚志(立命館大学)「加藤周一とサルトルー日本におけるサルトル思想受容史の一事例として」(2015年12月)
- ⑤ 桜井均(元NHKディレクター、立正大学)「加藤周一の「書き言葉」と「喋り言葉」」(2016年2月)

これらの研究発表と質疑応答は、研究会に留めるだけではなく、いかに社会的に発信していくかが検討中の課題である。

##### (ii) 各自研究

メンバーの鷺巣が、加藤より一世代前の知識人であり、かつコスモポリタニズムを指向した林達夫について『イタリア図書』に連載し、西岡亜紀が加藤とマチネポエティクの同人同士だった福永武彦に関する論文を発表したが、それらは研究業績の欄に書かれるので、ここからは省く。

#### (2) 研究成果活用

加藤文庫に所蔵される手稿ノート類のデジタルアーカイブ化を進めるにあたって、まずは加藤が17歳から書き始め、22歳まで書き続けた8冊のノート(これを「青春ノート」と名づけた、原稿用紙2000枚相当)を公開する方針を持って、デジタル化の作業を進めた。デジタルアーカイブ化はキーワード検索ができるように構築されている。「青春ノート」は、加藤の原点とも言うべきものであり、これが2016年4月1日にネット上で公開されたが、加藤文庫を社会的に知らしめ、加藤研究に資するものと確信する。なお、公開後のアクセス数は、学術関係のアーカイブとしては驚異的な数字に上っている。

#### (3) 加藤周一文庫開設記念講演会および土曜講座の準備作業

平井嘉一郎記念図書館の開設に合わせて、加藤周一文庫が創設されたが、その記念行事として、5月に、記念講演会(講師＝大江健三郎氏、ソーニャ・カトー氏、ソーニャ・アンツェン氏)とそれに関連させた土曜講座(講師＝樋口陽一氏、小関素明氏、上野千鶴子氏)を計画し、その準備作業を進めた。この記念行事は全学的行事として行なわれるものであったゆえに、関係各部の御協力をいただき、合同でその準備作業を進めたが、多大な時間と労力がかかるものであった。幸いにも多数の一般市民の参加者を得、メディアにも多数取り上げられた(別紙1参照)ことで、平井嘉一郎図書館と加藤周一文庫の開設の広報に役立った。

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2016年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位	
センター長	鷺巣 力	衣笠総合研究機構	招聘研究教員	
運営委員	渡辺 公三	先端総合学術研究科	教授	
	加國 尚志	文学部	教授	
	湯浅 俊彦	文学部	教授	
	西岡 亜紀	文学部	准教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	小関 素明	文学部	教授	
	中川 成美	文学部	教授	
	根津 朝彦	産業社会学部	准教授	
学内の若手研究者	専門研究員・研究員			
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
	博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上在籍院生	猪原 透	文学研究科	博士後期課程 加藤周一現代思想研究センター・客員研究員
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	住田 翔子	産業社会学部	非常勤講師	
客員協力研究員	半田 侑子	加藤周一現代思想研究センター		
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	ジュリー・ブロック	京都工芸繊維大学・工芸科学研究科	教授	
	彭 佳紅	帝塚山学院大学・人間科学部	教授	
	桜井 均	立正大学・文学部	教授	
	富山 仁貴	関西学院大学大学院 文学研究科	博士課程前期課程3回生	
研究所・センター構成員	計15名 (うち学内の若手研究者 計1名)			

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2016年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	鷺巣 力	夕日安語2	共著	2016年2月	筑摩書房	加藤周一	PP. 522-533
2	湯浅 俊彦	デジタル・アーカイブとは何かー理論と実践	共著	2015年6月	勉誠出版	岡本真、柳与志夫	PP. 239-260
3	西岡亜紀	福永武彦におけるボードレールー 研究と創作のあいだー	単著	2016年2月	『近代日本とフランス象徴主義』所収、水声社、	坂巻康司	PP. 147-183
4	ジュリー・ブロック	和歌における枕詞の働きー『万葉集』の三つの和歌について	共著	2015年10月	『芸術のかたちと受容の質ー「生の作用」について』Honore Champion 出版	マルク=マチュー・ミュンシユ編	p. 171-189

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	鷺巣 力	林達夫への精神史逍遙 (2)	単著	2015年10月	イタリア図書53号		PP. 2-8	無
2	鷺巣 力	林達夫への精神史逍遙 (3)	単著	2016年3月	イタリア図書54号		PP. 2-8	無
3	湯浅 俊彦	電子出版がもたらす新たな文化創造ー電子学術書と出版産業の変化 (第16回国際出版学会会議発表論文再録)	単著	2015年6月	出版研究(45号)		PP. 83-95	無
4	湯浅 俊彦	書評『電子書籍と電子ジャーナル』	単著	2015年9月	日本図書館情報学会誌(61巻3号)		PP. 183-184	無
5	猪原透	大正期社会思想史における米田正太郎ーエネルギー一元論への評価を中心に	単著	2015年11月	史創研究会『史創』第6号	なし	PP6~39	有
6	ジュリー・ブロック	「秋風と露の涙ー『万葉集』の一首に関する風土的な考察」	単著	2015年11月	インターネット出版『メゾロジック』	オーギュスタン・バルク代表	p. 1-5	有
7	ジュリー・ブロック	「春の日を愛でる言葉「菅の根」万葉集における動詞「こひわたる」と助詞「を」の働きに関するー考察」	単著	2016年3月	『京都工芸繊維大学学術報告書』8巻、京都工芸繊維大学		p. 1-14	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	湯浅 俊彦	電子書籍の音声読み上げ機能を活用した読書アクセシビリティの保障	2015年12月	日本出版学会 2015年度秋季研究発表会	無
2	西岡亜紀	「個」を持った少女の憂愁ー『かぐや姫の物語』『思ひでぼろぼろ』など』パネラー	2015年9月	特別企画映画監督高畑勲と語る「高畑勲の「世界」と「日本」(東京理科大学)	高畑勲、加藤敦子、中丸禎子、兼岡理恵
3	ジュリー・ブロック	『万葉集』における恋の表現についてー翻訳を試みて	2015年5月	平成27年度上代文学会大会 (高岡市生涯学習センター)	
4	ジュリー・ブロック	「和歌の表現の巧みさをどのように翻訳するかー『万葉集』の一首の和歌における同音異義語のはたらきを例	2015年6月	平成27年度夏季 全国大学国語国文学会大第111回大会 (大東文化会館)	

		に」			
5	ジュリー・ブロック	『万葉集』の歌三首から「おほほしく」をどう解釈し、フランス語に翻訳するか	2015年11月	万葉文化館第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」第8回共同研究会 (万葉文化館共同研究室)	
6	ジュリー・ブロック	「小説自体による小説の批評—安部公房『他人の顔』における仮面の解釈学的分析」	2015年11月	フランス比較文学会第40回大会 (アミアン大学)	
7	ジュリー・ブロック	「詩の「詩性」をどのように翻訳するか アンリ・メショニックの『リズム論』をめぐって」	2016年3月	フランス翻訳学会(SoFT)「日仏翻訳学研究」第1回研究会「日本古典文学の翻訳学」 (京都工芸繊維大学)	
8	猪原 透	日本におけるエネルギー一元論の受容と展開—大正期社会科学思想の一面—	2015年4月	シンポジウム 20世紀と核～1905 から2011 ～～	なし
9	猪原 透	自由民権運動と社会学	2016年1月	大阪歴史学会 2016年1月例会	なし

#### 4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	日本出版学会 2015年度第1回関西西部会「出版と批評の来歴」	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2015年5月	12	
2	日本出版学会 2015年度第2回関西西部会「書字の論理/活字の論理」	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2015年6月	15	
3	日本出版学会 2015年度第3回関西西部会「日本の出版物流通システム」	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2015年8月	11	
4	日本出版学会 2015年度第4回関西西部会「明治期の出版研究」	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2015年9月	10	
5	日本出版学会 2015年度第5回関西西部会「海文堂書店の記憶と記録」	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2015年10月	14	
6	「第17回図書館総合展」立命館大学 IRIS 主催 「大学図書館のアクセシビリティ」	パシフィコ横浜	2015年11月	90	
7	日本ペンクラブ・立命館大学共催セミナー 第2回「電子出版時代の言論・表現の自由」	立命館大学衣笠キャンパス	2015年11月	60	日本ペンクラブ
8	日本出版学会 2015年度第6回関西西部会「ライトノベルへのアプローチ」	関西学院大学大阪梅田キャンパス	2016年3月	20	
9	立命館大学 IRIS 公開シンポジウム「電子書籍の出版・流通と図書館の課題—読書アクセシビリティを中心に」	ステーションコンファレンス東京	2016年3月	100	

#### 5. その他研究活動（報道発表や講演会等）

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	湯浅 俊彦	「2015年度 TRC ライブラリーアカデミー大阪」講演 「電子資料の活用と新しい公共図書館像の創出」	図書館流通センター大阪支社	2015年4月
2	湯浅 俊彦	「第6回教育ITソリューション EXPO」講演 「電子図書館の可能性—障害者差別解消法施行に向けて」	東京ビッグサイト・大日本印刷ブース	2015年5月
3	湯浅 俊彦	「第44回近畿学校図書館研究大会」講演 「デジタル・ネットワーク社会と学校図書館—電子資料と読書空間の視点から」	大阪・御堂会館	2015年8月
4	湯浅 俊彦	「2015年度関東・甲信越静地区図書館地区別研修」講演 「電子出版の進展と図書館の役割」	県立長野図書館	2015年10月

5	湯浅 俊彦	「2015年度 石川県図書館大会」講演 「図書館と電子資料」	石川県立図書館	2015年11月
6	湯浅 俊彦	「第17回図書館総合展」コーディネーター 「変貌する出版メディアと図書館革命— 図書館・出版社共同戦線2015」	パシフィコ横浜	2015年11月
7	湯浅 俊彦	「第17回図書館総合展」コーディネーター 「公共図書館の未来像」	パシフィコ横浜	2015年11月
8	湯浅 俊彦	「第17回図書館総合展」コーディネーター 「変わる大学、変わる図書館—電子学術書 を活用した大学授業の高度化」	パシフィコ横浜	2015年11月
9	湯浅 俊彦	「第17回図書館総合展」コーディネーター 「障害者差別解消法と図書館—読書アク セシビリティの視点から」	パシフィコ横浜	2015年11月
11	湯浅 俊彦	「三重県学校図書館協議会 学校司書研 修会」講演 「電子出版時代の学校図書館」	三重県立津高等学校	2015年12月
12	湯浅 俊彦	「2015年度 中国・四国地区図書館地区 別研修会」講演 「公共図書館における電子資料提供の新 展開」	サンポートホール高松	2015年12月
13	湯浅 俊彦	「2015年度 近畿公共図書館協議会研究 集会（兼児童奉仕部門研究会）」講演 「電子書籍とこれからの図書館像」	京都市勧業館（みやこめッセ）	2016年1月
14	湯浅 俊彦	「はびきの市民大学 2015年度後期講 座」講演 「電子出版時代の図書館像」	大阪府・羽曳野市・時とみどりの交流館	2016年1月
15	湯浅 俊彦	「立命館土曜講座2016年1月」講演 「電子出版時代における図書館の新たな 役割」	立命館大学・末川記念会館講義室	2016年1月
16	湯浅 俊彦	「2015年度芦屋市立公民館講座」講演 「デジタル時代の出版ビジネスと図書館」	芦屋市立公民館	2016年2月
17	湯浅 俊彦	「奈良県立図書情報館開館10周年記念・ これからの図書館を考える」講演 「公共図書館が取り組むべき3つの課題 について」	奈良県立図書情報館	2016年3月
18	西岡 亜紀	【司会】岩津 航「フォンダーヌとヴォロ ンカ——二つの『ユリシーズ』をめぐって」	日本比較文学会関東支部9月例会、於 立命 館大学	2016年9月19日

#### 6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
該当無し					

#### 7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	鷺巣 力	加藤周一の思想史研究—手稿ノートの分析を 中心に	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表者
2	湯浅 俊彦	「高等教育機関における障害者の読書アクセ シビリティの向上: ICTによる図書館の活用」	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	分担
3	西岡 亜紀	世界文学としてのアンデルセン『人魚姫』の超 領域的研究と教養教育への応用モデル	基盤研究(C)	2013年4月	2018年3月	分担

#### 8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
該当無し						

## 9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
該当無し								